

2024年3月期 決算説明資料

2023年4月～2024年3月（第195期）

2024年 4月 26日
日本車輛製造株式会社

目次

1. 2024年3月期 連結決算の概要
 - (1) 業績の要約
 - (2) セグメント別業績

2. 2025年3月期 連結通期業績見通し

業績の概要（2024年3月期）

売上：輸送用機器・鉄構事業、建設機械事業の増収の一方で、鉄道車両事業、エンジニアリング事業の減収により減収

利益：鉄道車両事業、エンジニアリング事業の減益の一方で、輸送用機器・鉄構事業の黒字化、建設機械事業の増益により増益

(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減	前期比
売上高	979	880	△99	△10.1%
営業利益	44	60	+15	+35.8%
経常利益	44	63	+18	+40.3%
(売上高経常利益率)	(4.6%)	(7.2%)	(+2.6%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	53	+22	+72.6%

セグメント別業績（2024年3月期）

(単位：億円)

	売上高			営業損益		
	前期	当期	増減	前期	当期	増減
鉄道車両	533	406	△127	32	27	△4
輸送用機器・鉄構	155	184	+28	△9	9	+18
建設機械	198	212	+13	28	37	+9
エンジニアリング	91	77	△14	3	△2	△6
その他/調整額	0	0	0	△10	△11	△1
合計	979	880	△99	44	60	+15

※ 「調整額」は、セグメントに帰属しない一般管理費、セグメント間取引消去などを含んでいる

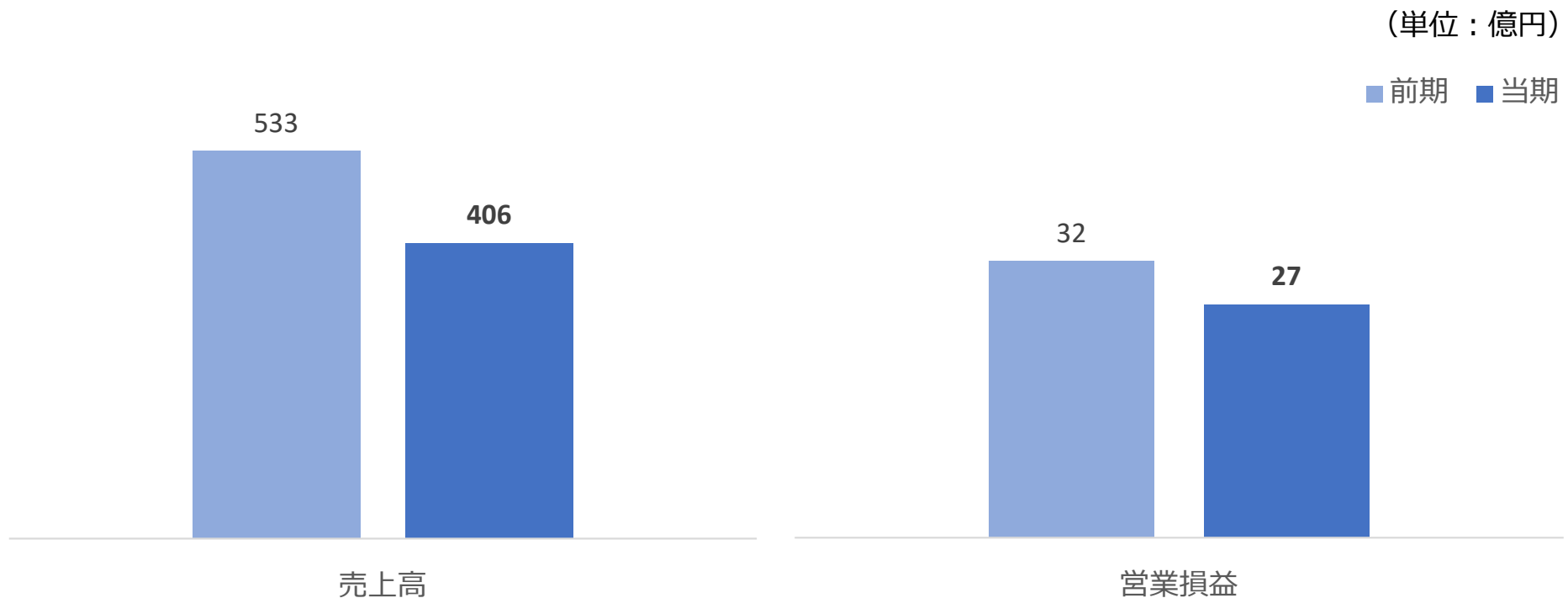
鉄道車両事業

<売上高>

- J R東海向け及びJ R西日本向けN 7 0 0 S新幹線電車やJ R東海向け3 1 5系電車、H C 8 5系特急型車両のほか、新京成電鉄向け電車、東京都交通局向け電車などの売上があったが、J R向け車両の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

- 主に減収により減益。



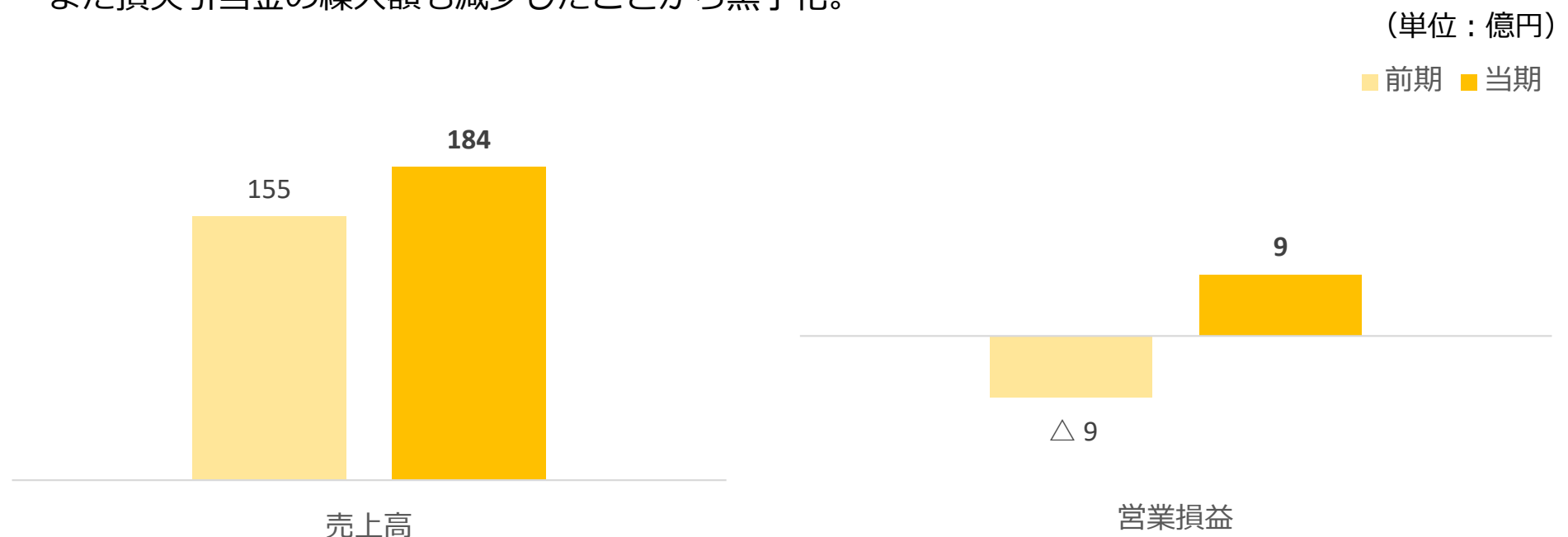
輸送用機器・鉄構事業

<売上高>

- 輸送用機器は、民生用バルクローリ、大型自走式キャリア、無人搬送装置、貨車などの売上があり、民生用バルクローリ、大型自走式キャリア、LNGトレーラの売上が増加したことなどにより増収。
- 鉄構は、佐世保道路須崎橋、東海環状員弁川橋、飯沼川高架橋などの売上があり、これらの道路橋の売上が増加したことなどにより増収。

<営業損益>

- 増収による増益に加えて、操業度向上による利益率の改善、また損失引当金の繰入額も減少したことから黒字化。



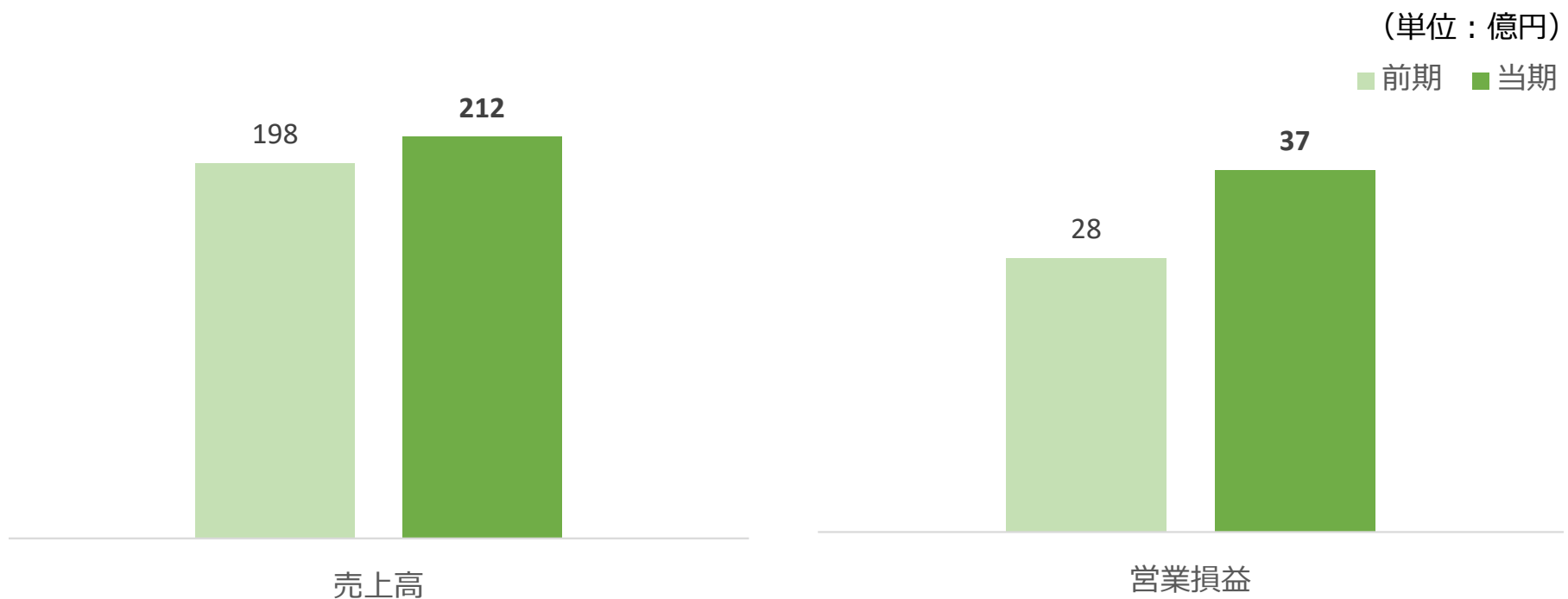
建設機械事業

<売上高>

- ▶ 大型杭打機、小型杭打機、全回転チュービング装置などの売上があり、国内向けの杭打機の売上が増加したことなどにより増収。

<営業損益>

- ▶ 主に増収により増益。



エンジニアリング事業

<売上高>

- 鉄道事業者向け機械設備のほか、各地のJ A向け営農プラント、家庭紙メーカー向け製造設備などの売上があったが、鉄道事業者向け機械設備の売上が減少したことなどにより減収。

<営業損益>

- 減収に加えて、個別の案件で損失を引き当てたことなどにより赤字。

(単位：億円)

■ 前期 ■ 当期



2025年3月期 連結通期業績見通し

2024年3月期との比較

売上高：鉄道車両事業、建設機械事業及び輸送用機器・鉄構事業の増収により、増収となる見通し

利益：建設機械事業及びエンジニアリング事業で増益するものの、鉄道車両事業及び輸送用機器・鉄構事業で減益となることから、全体として減益となる見通し

(単位：億円)

科目	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (業績見通し)	増減	前期比
売上高	880	910	+29	+3.3%
営業利益	60	55	△5	△9.2%
経常利益	63	57	△6	△9.6%
(売上高経常利益率)	(7.2%)	(6.3%)	(△0.9%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	50	△3	△7.1%

配当について

- 2024年3月期の期末配当については、期首に公表した配当予想1株当たり10円を5円増配し、15円とする（年間25円）。
- 2025年3月期の配当予想についても、中間・期末ともに1株当たり15円とする（年間30円）。

日本車両

※本資料の業績見通しに記載されている将来の数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。